

東白川村 美しい村づくり 委員会

第95回

○場 所：神土交流サロン

○時 期：令和7年3月19日 19:00~21:00

○参加者：委員3名 行政3名

第1 村長あいさつ

みなさんこんばんは。3月中頃ですが、今朝も雪が降り寒い一日でしたね。寒い中のご参加、ありがとうございます。本日は95回目の開催ですが、美しい村づくり委員会第4期終了の回でもあります。来年度も美しい村づくり事業、官民協働のむらづくり事業を継続し進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。さて、3月22日土曜日には、6回目となる美しい村づくり講演会が開かれます。今回は、本村が加盟しているNPO法人「日本で最も美しい村」連合の理念や活動、美しい村の価値についてお話しいただき、これからの東白川村の在り方について考える内容となっています。皆様のご参加よろしくお願いいたします。

また、来年度からはこの委員会は第5期の活動となります。来年度は、私の村長として3期目の4年目となる年度でもあります。ですので、第5期の委員会でも、私も毎回出席し、村長とコミュニケーションができる委員会としていき、官民協働や住民参加の村づくりを推し進めてまいります。というのも、地域づくりは、行政だけでは限界を迎えている時代となり、住民の方も行政も「横のつながり」を強化して取り組むべき時代となっています。ですから、この委員会の活動ももちろんのこと、行政の働き方も横のつながりを強化する改革をして取り組んでいきます。村は、今年度は7名のお子さんが生まれました。人口は毎年50人ほど減少し、高齢

者率は50%ほどとなり、年金受給者も増えつづけています。この状況の中、村のあらゆる施設の見直しが必要となっています。とくに、学校、保育園、病院、老健が重要施設となります。見直しの際は、その施設の目的を再確認し、現在に至る歴史をおさえ、未来の在り方を創造する作業が重要となります。安心して人生を終えることができる村、安心して子育てができる村づくりをみなさんと一緒に取り組んでまいりますので、本日もよろしくお願いいたします。

第2 暦くらす（暮らしの体験会）について

第4期委員会のメインミッションである「暦くらす」について、3月16日（日）に開催された苔玉づくり体験の報告と事業全体の振り返りを行いました。

〈意見〉

- ・ 出会いの場や交流の場として機能していた。
- ・ お山歩会ではショートコース版やロングコース版などの要望の声があった。
- ・ 暮らしの体験会のおかげで、料理などチャレンジしやすい。
- ・ 移住者中心の参加から地元の参加ある多様な会と変化していった。
- ・ 続けて開催してほしい声が挙がっている。
- ・ とくに食文化を次世代につなげる良い活動となっている。
- ・ 体験会を続けることが、住民の方からの要望に応えることとなる。

第3 第5期委員会について

第5期では、現在まで10回開催してきた「学び合い会」をメインミッションとし、委員も事務局も同じ部員として企画・運営していくことを説明しました。

〈内容〉

- ・第4期委員へは、4月委員会開催までに継続の確認を行う。
- ・「学び合い会」は、住民に開かれ、より参加が増える会となるよう工夫していく。
- ・雑談会（交流会）は、移住定住事業として別に開催していく。
- ・がんばる地域づくり補助金プレゼン審査は、委員会から外し、審査会を別に設ける。
- ・女性、若者、地元の方、外部の方など多様な仲間を増やしていく。

第4 私の近況報告

参加者全員の近況について対話を行いました。

第5 閉会（21：00）

〈次回〉 4月30日（水） 19時から 神土交流サロン
★第5期美しい村づくり委員会スタート
テーマ「みんなの学び合い会」について

以上